

レナセラピューティクス株式会社との資本提携に関するお知らせ

株式会社日本触媒（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：五嶋祐治朗、以下「日本触媒」）は、レナセラピューティクス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐々木潤、以下「レナセラピューティクス」）が実施する第三者割当増資を引き受け、本日、出資金払込みが完了いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 本提携の目的

日本触媒は平成 26 年度にスタートさせた長期経営計画「新生日本触媒 2020」及び、平成 29 年度からの後半中期経営計画「新生日本触媒 2020 NEXT」に基づき、健康・医療事業を始めとする新規事業の早期立ち上げ・新製品の速やかな上市を目指した取り組みを行っております。

その中で健康・医療事業に関しましては、次世代医薬品シーズの研究開発・臨床開発から 製造受託に至る、一貫したサービスを提供する創薬支援事業の確立を目指した活動を進めており、市場の拡大が見込まれる核酸医薬^{注1}原薬、ペプチド医薬原薬、及び DDS 分野への参入を進めております。日本触媒は、こうした事業分野において、革新的なシーズを保有する企業等との提携の可能性を探し続けています。

レナセラピューティクスは、東京医科歯科大学横田隆徳教授と大阪大学小比賀聡教授らが開発したヘテロ 2 本鎖核酸技術（HDO ^{注2} 技術）を創薬基盤技術とし、核酸医薬を早期に実用化することを目指しています。核酸医薬は、これまで治療が困難であった様々な疾患に対する次世代の医薬品として期待されていますが、投与後の血中安定性や副作用等の課題を有することが広く知られています。ヘテロ 2 本鎖核酸技術（HDO 技術）は、DNA と RNA からなる 2 本鎖に DDS 機能を発現するリガンド分子を結合させた構造（図 1）を有しており、核酸医薬の課題を克服する革新的な技術と期待されています。

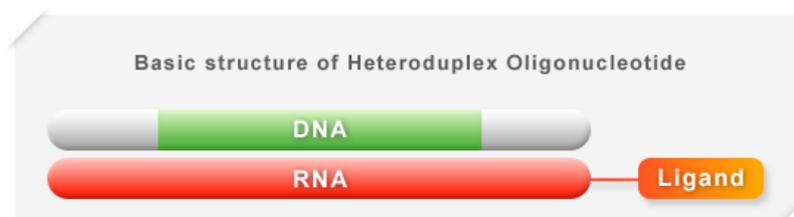


図 1. ヘテロ 2 本鎖核酸の構造図（レナセラピューティクス株式会社提供）

今回の資本提携を通じて、日本触媒はレナセラピューティクスの HDO 技術の開発を促進するとともに、同技術の開発・製造の面で業務提携を実施するべく、今後両社で協議を進めて参ります。

注1)ヌクレオチドを構成成分とする医薬品で、癌や神経変性疾患、遺伝性疾患等の難治性疾患に対する革新的な医薬品として発展が期待されている

注2) Hetero Duplex Oligonucleotide の略

2. 本提携の概要

日本触媒は、両社の関係強化とレナセラピューティクスの HDO 技術の開発促進のため、レナセラピューティクスが第三者割当増資により新たに発行する B 種優先株式 125,000 株を以下の通り引き受けます。これにより、日本触媒はレナセラピューティクスの増資後の発行済株式総数の 26.79%を取得いたしました。

- ① 日本触媒による引受株式の種類及び数 : B 種優先株式 125,000 株
- ② 引受後の持株比率 : 発行済株式総数の 26.79%^{※注3}
- ③ 払込日 : 平成 29 年 6 月 30 日

注3) 同社普通株式と A 種及び B 種優先株式を合わせた発行済株式総数に対する割合。なお、普通株式同様、A 種及び B 種優先株式ともに株式数と同数の議決権を有する。

3. レナセラピューティクス株式会社の概要

(1) 企業概要

① 名称	レナセラピューティクス株式会社
② 所在地	東京都千代田区神田駿河台二丁目 3 番地 10 東京医科歯科大学内
③ 代表者名	代表取締役 佐々木 潤
④ 事業内容	創薬基盤型事業(医薬品開発における基盤技術を提供し、その対価を受領)
⑤ 資本金	330 百万円
⑥ 設立年月日	平成 27 年 1 月 15 日
⑦ 発行済株式総数	316,666 株
⑧ 決算期	12 月期
⑨ 従業員数	8 名 (平成 29 年 6 月現在)
⑩ ウェブサイト	http://www.renatherapeutics.com/

(2) 当社との関係

① 資本関係	ありません。
② 人的関係	ありません。
③ 取引等の関係	ありません。

4. 今後の見通し

日本触媒は今後、レナセラピューティクスとの業務提携について具体的な内容の検討を実施していくと同時に、目指す「創薬支援事業」の基盤確立に向けて更なる手段を講じていきたいと考えております。

以上

【問い合わせ先】

株式会社日本触媒 経営企画室 I R・広報部

Tel:03-3506-7605 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-2-2